の成長に手応えを感じている。

の向上も目指したいと思います」。 把握や対策、保全活動の企画能力

小林さんらの努力が、

心。グヌンパルン国立公園昨年11月には日本での研

5月に実施した最後の実習時に

生物の基礎デ

タの調査だけ

した違法行為の現状

13 mundi August 2016

独力で調査ができるまでにな

小林さんは職員ら

個体数を記録する方法を伝えて

職員はみな真剣で、

## 進む森林開発生物多様性の宝庫で

に覆われているインドネ国土の陸地面積の約半分 世界の野生動植物種のおよそ ネシアに

による地球温暖化への悪影響も懸た。さらに、温室効果ガスの放出はすみかを追われるようになっ林開発が始まってから、動物たち 970年代に大規模な森 ・が生息している。

念されている。

林減少の抑制や関連制度の整備を話すのは、西カリマンタン州の森 そろっていない状況です」。 する上で重要な基礎的なデ 昆虫類などは、生物多様性を議論 小・中型の哺乳類や鳥類、 織が保護活動を進めていますが 現地政府やさまざまな国際組 続けている。 失われた。 推計によると、インド 然として大量の熱帯林が伐採され はやや鈍化 91万ヘクタ その後、 したものの、

「これらの大型の動物につ ザルなどの希少種の生息地 ンタン島の西カリマンタも、対策が遅れているの オランウ タンや

魚類、 そう タが

国連食糧農業機関 森林減少のス ロールの森林が年の間に年間 「シアでは、

が減っているという 州だ。同州では、開発や森林火災

ることだ。 実施できる体制を整え REDD+は、

さんは、今回、 の調査を指導 小林浩専門家だ。 インドネシアで鳥類 CAプロジェク 再びこの地で同様 た経験を持つ小林 1989年か A専門 4年間

いる。 る仕組みである「REDD+」を全と温室効果ガスの削減を促進す マンタン州などの地域が、 エクトの最終的な狙いは、 は活動の一部に過ぎない。 取り組みを行っているが、 の維持・改善に向けたさまざまな の調査に携わる喜びをかみしめて プロジ 生物多様性 それら 森林保 西カリ プロジ

唱されたもので、開発 会議(COP13)で提 枠組条約第13回締約国 2

西カリマンタン州

## 森の命を守る、 輝かせ続ける

生物多様性を守るため、カリしかし、森林開発に伴って、 生態系管理に関する能力を強化する取り組みが行われている。 広大な森林を持つインドネシアには、 カリマンタン島・西カリマンタン州の国立公園では 生物のすみかは減りつつある。 数多くの生物が息づいている

要性が伝わったようら協働することの重 や民間企業、国民のけでなく地方自治体 猟は増えつつあるようです。 ける共同管理の事例の講義を受け 記されています。研 参加が必要だ〟と明 の生物多様性基本法 いて理解を深めた。 生物多様性保全の役割や意義につ 国立公園課や同局生物多様性センの職員らが、環境省自然環境局の 森林の違法伐採は減少傾向にあり みをグヌンパルン国立公園に適用 「グヌンパルン国立公園では、 林野庁林政部などを訪問し、 。生物多様性保全の取り組屋久島と西表島の国立公園 ″生物多様性を 課題を整理した。 イノシシや鳥類などの密 研修員たちは尾瀬にお それぞれ 国から 「日本 国だ 今後 ミツユビカワセミ(カスミ 網調査で記録)。日本の カワセミより小型のかわ いらしい鳥。公園内に広 く分布する カザリショウビンのオス(カスミ網調査 で記録)。カワセミの仲間では珍しく、オスとメスの色がはっきりと異なる。主に 原生林に生息している ヌンパルン国立公園の森。木の上では

園で生態系のモニタリングを担当

る生態系管理官や、森林警察官

園内のさまざまな生物の

「かご罠やカスミ網、術を指導している。

力

メラト

ップなどのさまざまな手法を使

園内で小型哺乳類や鳥類、

両

爬虫類などの生き物の種類

息状況を調査するために必要な

林さんは、

グヌンパルン国立公

森の生物の守り人を育てる生息状況を知ることが第一歩

かである森や環境を守る一 REDD+を通じて生き物のす

方

現場まで、

修を通じて、

生物多様性に関する知識を持

材を育てることも重要だ。

などでも州レベルの実施メカニズ

守るためには、

ムの構築が進められている

取るかたちで、

西カリマンタン州

えられつつあり、これと整合性を

国レベルで各種デ

タや制度が整

小林さんは、

現在、REDD+実施に向けて、

排出削減の取り組みの成果に対し 途上国の森林保全や温室効果ガス

先進国が経済的な見返りを提



From Indonesia

August 2016 mundi 12